

事務連絡  
平成16年3月4日

各都道府県 薬務主管課 御中

厚生労働省医薬食品局血液対策課

平成15年度血液製剤使用適正化普及事業について

血液事業の推進に平素より格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

標記につきましては、厚生労働省医薬食品局長通知「平成15年度血液製剤使用適正化普及委託費の交付について」（平成15年12月17日付け薬食発第1217006号）により依頼しているところですが、同事業実施要綱3(4)の各都道府県における合同輸血療法委員会の現状に関する調査を実施するとともに、別添調査票に記入の上、平成16年3月19日(金)までに送付していただきますようよろしくお願いいたします。

# 各都道府県における合同輸血療法委員会の現状に関する調査

調査番号

H1603

## I. 調査回答者

1. 都道府県名および担当者

都道府県名

記載者名

所属  
職名

## II. 会議開催の有無

2. 都道府県単位の合同輸血療法委員会またはこれに相当する病院輸血業務の担当者による合同会議等が実施されていますか？

(1. 実施している 2. いいえ)

回答2

## III. 会議等参加病院・参加者について

3. 会議等の開催は平成何年度から行われていますか？

回答3

年度

4. 参加病院数について病床数ごとに記入ください。

病院病床数	平成12年度	平成13年度	平成14年度
100床以下			
100～200床			
200～300床			
300～500床			
500～1000床			
1000床以上			
合計			

5. 参加病院全体で年間に使用されている輸血製剤は毎年度の都道府県内の総使用量の何%に相当しますか？

	平成12年度	平成13年度	平成14年度
使用量割合(%)			

6. 会議の総参加人数および職種別人数についてお答えください。

職種	平成12年度	平成13年度	平成14年度
医師			
薬剤師			
検査技師			
看護師			
日赤関係者			
その他			
総人数(合計)			

Ⅲ 参加病院の調査・集計について

(1) 輸血部門管理体制

7. 会議では参加病院の輸血部門の管理体制について調査集計を行っていますか？

(1. 集計している 2. いいえ)

回答7	
-----	--

8. 参加病院での輸血療法委員会の設置割合をお答えください。

	平成12年度	平成13年度	平成14年度
設置割合(%)			

9. 参加病院での輸血部(輸血について一元管理している部門を含む)の設置割合をお答えください。

	平成12年度	平成13年度	平成14年度
設置割合(%)			

(2) 血液製剤による副作用対策

10. 参加病院の輸血事故防止対策について調査集計を行っていますか？

(1. 集計している 2. いいえ 3. 不明)

回答10	
------	--

11. 輸血事故防止のための「輸血実施手順書(マニュアル)」の作成割合についてお答えください。

	平成12年度	平成13年度	平成14年度
作成割合(%)			

12. 輸血療法に伴う、事故やインシデント(事故には至らなかったが、ヒヤリとしたりハツとした事例)の報告体制について調査集計を行っていますか？

(1. 集計している 2. いいえ)

回答12	
------	--

13. 血液製剤による副作用(輸血感染症を含む)の報告体制について調査集計を行っていますか？

(1. 集計している 2. いいえ)

回答13	
------	--

(3) 血液製剤の適正使用について

14. 参加病院の血液製剤の適正使用の取り組みについて調査集計を行っていますか？

(1. 集計している 2. いいえ)

回答14	
------	--

15. 「血液製剤の使用指針・輸血療法の指針」の遵守体制について調査集計を行っていますか？

(1. 集計している 2. いいえ)

回答15	
------	--

16. 参加病院の自己血輸血の実施体制について調査集計を行っていますか？

(1. 集計している 2. いいえ)

回答16	
------	--

(4)血液製剤の使用状況について

17. 会議では各参加病院の輸血製剤の使用量の集計が行われていますか？

(1. 集計している 2. いいえ)

18. 各参加病院の廃棄された血液製剤量の集計が行われていますか？

(1. 集計している 2. いいえ)

19. 会議では各参加病院の自己血輸血量の集計が行われていますか？

(1. 集計している 2. いいえ)

IV. 会議での検討・討議内容について

20. 会議では輸血療法の適正化について検討が行われていますか？

(1. はい 2. いいえ)

21. 輸血事故防止対策について検討を行っていますか？

(1. はい 2. いいえ)

22. 血液製剤による副作用(輸血感染症を含む)の報告体制について検討を行っていますか？

(1. はい 2. いいえ)

23. その他に討議された内容があればご記入ください。

V. 会議の開催効果について

24. 会議の開催により参加病院において改善された項目をお答えください。

(1. 改善した 2. なし 3. 不明)

項目	改善の有無
輸血部門管理体制	<input type="text"/>
輸血療法の適正化	<input type="text"/>
輸血事故防止対策	<input type="text"/>
輸血副作用報告体制	<input type="text"/>

25. その他改善された内容があればご記入ください。

VI. 会議の議事録・資料の保存について

26. 会議の議事録・配布資料が保存されていますか？

(1. はい 2. いいえ)

質問26の「はい」と回答された場合は、差し支えなければ保存されている議事録・配布資料の提出をお願いします。

Ⅶ. その他

27. 合同輸血療法委員会の意義・血液製剤の適正使用対策などについて、ご意見やご要望がありましたらご記入ください。

[Empty response box]

ご協力ありがとうございました。

赤血球製剤の使用状況調査について

関係者各位

中央薬事審議会血液製剤特別部会適正使用調査会  
会長 池田 康夫  
厚生省医薬安全局血液対策課  
課長 中島 正治

赤血球製剤の使用状況調査の協力について（依頼）

血液事業の推進につきましては、平素より多大なご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

中央薬事審議会血液製剤特別部会適正使用調査会において血液製剤の適正使用に関する審議を進めておりますが、赤血球製剤は急性及び慢性の貧血に対し臓器への酸素運搬等を目的に行われる極めて有効な補充療法である一方で、その使用状況の実態は正確に把握されておられません。

今回、本調査会で、赤血球製剤輸血に関する内外の知見を検討した結果、赤血球輸血を開始し維持すべきヘモグロビン値の現状を把握することを主な目的に使用状況調査を行うことになりました。本調査では、輸血を行う可能性が高く、比較的定型的な治療が行われている疾患として、食道悪性腫瘍、肝細胞がん及び直腸悪性腫瘍の3疾患に焦点を絞り、各施設、各科における赤血球製剤を用いる基準を調査致したいと考えております。

つきましては、調査対象として、食道疾患、肝疾患及び大腸疾患の手術件数が多いと考えられる施設を対象に赤血球製剤の使用実態調査を考えておりますので何とぞ調査に御協力のほど、お願い申し上げます。

なお、調査に際しては匿名性を十分担保するとともに統計目的以外には使用しませんので何とぞ御高配のほど、お願いいたします。

また、3年後を目途に長期予後を確認し、本調査と継続した形で我が国における医学的根拠に基づいた赤血球製剤の使用指針の確立等も視野に入れた研究も検討しております。

以上、ご多忙中恐縮ですが調査目的をご理解いただき、御協力いただきますよう重ねてお願い申し上げます。

## 直腸癌手術における赤血球製剤使用状況調査の結果について

厚生労働省 赤血球製剤使用状況調査委員会

高橋慶一、久保正二、小澤壮治、門田守人、比留間 潔

【目的】直腸癌の外科的切除術における赤血球製剤の適正使用のためのガイドラインを作成するため、赤血球製剤の使用に関する全国調査を施行した。【方法】2000年5月に全国の中規模以上の消化器外科系施設209施設からアンケート調査の回答を得た。調査内容は、施設の規模、直腸癌手術の輸血の考え方に関する質問、1999年1年間の赤血球製剤使用例の報告、想定された患者に対する輸血の使用調査（シナリオ形式の調査）の4部形式で実態調査を行った。【結果と考察】国立および公的機関が72%を占め、施設に偏りがあった。自己血輸血未施行施設が7割を占め、直腸癌では自己血輸血の普及にはまだ時間がかかると思われた。術前、術中、術後に輸血に踏み切るヘモグロビン値は8g/dlが最も多く、輸血による上昇目標は10g/dlで共通していた。しかしシナリオ形式の調査では、同一症例でも術中予想出血量に施設間でバラツキがあったが、術中および術後の保つべきヘモグロビン値の最低値を8g/dlとする点は共通していた。しかし上昇目標値は10g/dlでよいとする考えと、正常値(12g/dl)までも戻すべきであるという2峰性を示した。またアルブミン製剤の使用開始はアルブミン値が2.5gの場合が最も多く、3g以上でアルブミン投与を行なうことは稀であった。同種輸血回避量は800mlが多かったが、80歳以上の高齢者では400mlで少ない傾向にあった。



